

「この木なんの木」に寄せて

庄山 悦彦（高6回）



「この木 なんの木
気になる木 名前も知
らない木ですから 名
前も知らない木になる
でしょう」でおなじみ
の「日立の樹」のCM

は、毎週土曜日の夜9時から放送の「日立
世界ふしぎ発見！」（東京放送「TBS」系全
国ネット）でオンエアしています。



日立の樹

日立にとって、この番組は大勢のファン
に支えられる長寿番組であるということで、
本当にありがたいことと思っています。

こんなこともありました。数年前、この
番組のCMに私も出演したことがあります。
この番組では世界のあちこちの珍しい
風景と歴史をクイズ風に紹介していますが、
回数で多いのはやはりエジプトです。この
時もアレキサンドリアとカイロがロケ地と
なるエジプト編でした。

初めにアレキサンドリアで図書館遺跡を
訪ね、これらの書籍もパピルスにかわる記
憶装置ストレージがあれば、焼失せずに残

ったのにというシナリオで、ミステリーハ
ンターの竹内さんと坂東さんと共演？した
もので、最後はラクダに乗って、ピラミッド
をバックに散歩というCMでした。当時
社長が自社のCMに出演することは珍し
かったせいもあり、お世辞を含め、受けた
ものでした。これもこの番組を大切にしたい
という思いから、入社間もない若い社員
に口説かれて出演したものでした。

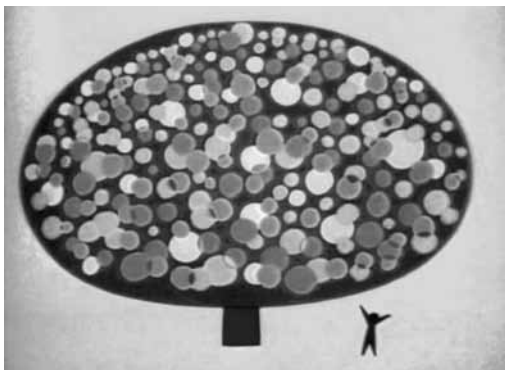


現地ロケ風景

さてこの「日立の樹」CMの目的は、多様
な業種を擁する日立グループが、それぞ
れの技術を持ち寄って社会に貢献する姿をシ
ンボリックに表現したものです。一つの幹
（日立）から沢山の枝（関連会社）が伸び、
沢山の花、実（技術・商品）を結ぶ姿を象
徴しています。

この「日立の樹」にも歴史があります。
初代は「日立世界ふしぎ発見！」の番組よ
り前、'73年から'75年まで放映されたもの
で、アニメーション描画でスタートしまし
た。大きく成長する木が社名と共に登場、
音楽は当初より現在と同じ曲を使用してお
りました。

その後ハワイオアフ島のモンキーポッド



アニメーション「日立の樹」

を採用、ハワイ島、シンガポール、ロサンゼルス別の樹を経て'84年からの六代目に再び現在のハワイのモンキーポッドが採用されました。

八代目は、2001年4月からの放映で、この年よりブランドマネジメントの強化を行い、コーポレートブランドとして、“Inspire the Next”を取り入れました。これに合わせて躍動感や生き生きとしたイメージを表現することを目的にリニューアルしたものでした。

“Inspire the Next”は、「日立は次なる時代に息吹を与え続ける」「日立は次の時代に新しい風を吹き込む」という意味を込めたものです。

そして現在のCMは九代目、2005年2月からで、ハイビジョン撮影したものです。

夜明けや木漏れ日など美しい光の移ろいと、みずみずしい青葉をたくわえた、大樹の力強い生命力とが織り成すファンタジックな映像世界を、ハイビジョンクオリティで色鮮やかに作りあげました。朝日のきらめきの中で、大きく枝をひろげ、のびやかに育つ樹のイメージは、新しい日立グループ

の未来を象徴し、これを願望としています。

「日立の樹」のプロフィールは、

名称、モンキーポッド

俗称：アメリカネムまたはサマンの木

場所：アメリカハワイ州オアフ島モアナルア・ガーデンパーク

樹齢：約130年

高さ：約25メートル

最大枝幅：約40メートル

幹廻り：約7メートル

シダに似た葉は午後になると閉じ、日の出と共に開くという。

「日立の樹」CMは一般視聴者に広く深く日立グループのシンボルとして認知されつつあり、今後もこれを大切に、それがもたらす「親近感」や「温かみ」といった評価を現在進めつつあるブランド戦略にも合致させ継続していく予定であります。さらに、「環境」にやさしい会社を目指して本CM共々成長してまいります。

四番です。

「この木 なんの木 気になる木 みんながあつまる木ですから みんながあつまる実がなるでしょう」



'00年 社長時代家内と